

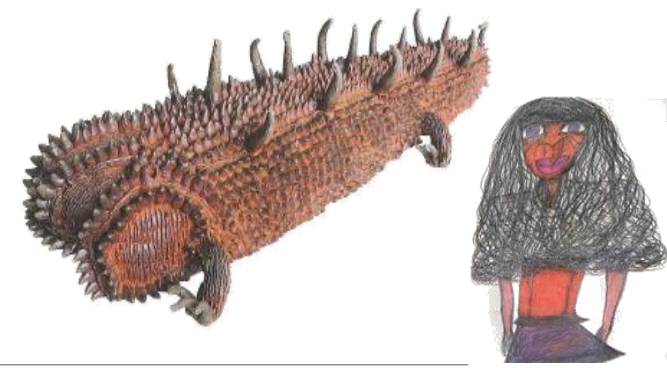
地域新電力会社 「こなんウルトラパワー」を 核としたシュタットベルケ構築事業



滋賀県湖南市



福祉のまち湖南省: 糸賀一雄の目指したこと 「発達保障」と「この子らを世の光に」



アール・ブリュット
—生きの芸術—
人の無限の
創造力に出逢う



滋賀県立近江学園

滋賀県立近江学園は昭和21年11月、大津市南郷に糸賀一雄氏らによって創設され、昭和23年4月「児童福祉法」の施行に伴い、県立の児童福祉施設となりました。

「この子らを世の光に」と人々に語りかけた糸賀氏は、池田太郎氏、田村一二氏らとともに知的障害児・者の療育に力をそそがれました。その後、昭和46年9月、現在の湖南省に移転後も糸賀氏らの心は受け継がれ、知的障害を持った子どもたちが豊かに育っていくよう支援しています。(滋賀県HPより)

自覚者が責任者

「この子らを世の光に」 糸賀一雄氏

社会福祉の実践家

大正3年3月29日～昭和43年9月18日

「わが国社会福祉の父」と呼ばれる

昭和21年に戦災孤児や知的障がい児の入所・教育・医療を行う

「近江学園」を創設

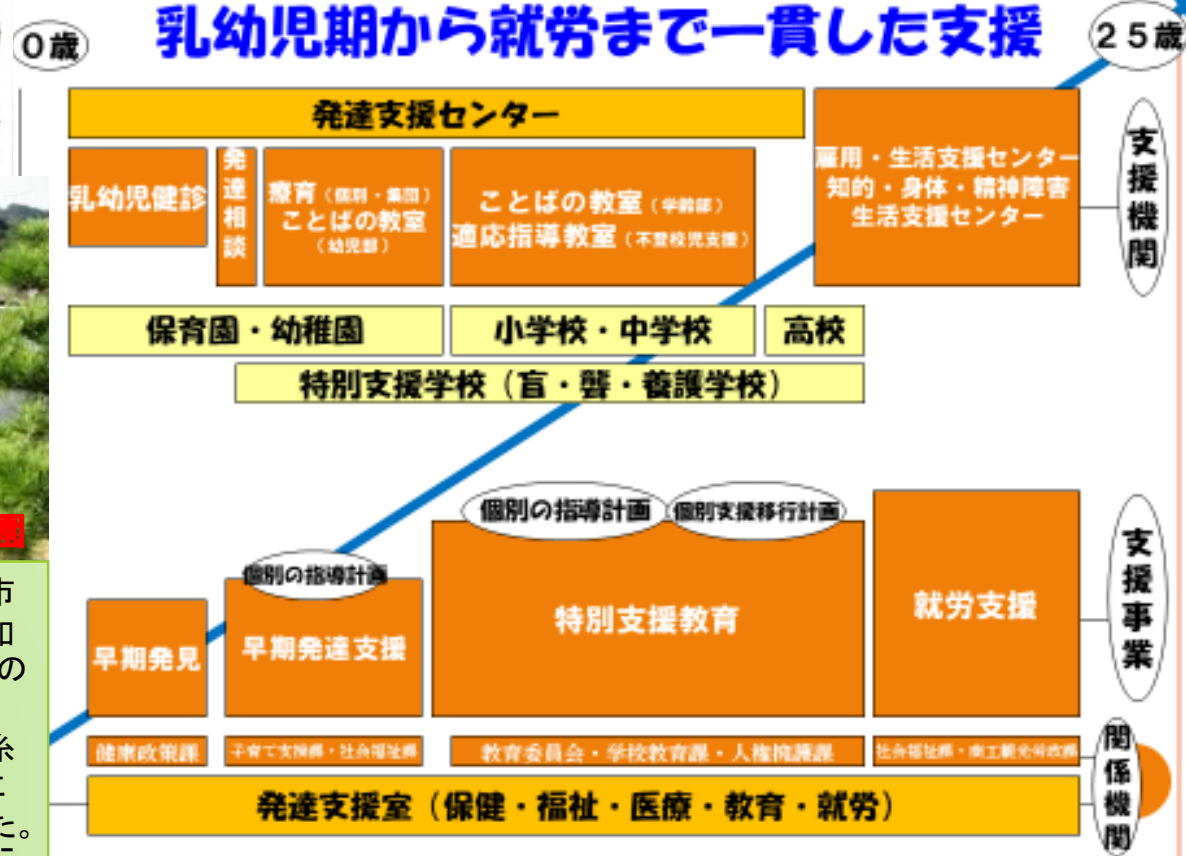
西日本で最初の重症心身障害児施設「びわこ学園」を設立

「発達保障の思想」「この子らを世の光に」

「不断の研究」「耐乏生活」「四六時中勤務」



田村一二氏、糸賀一雄氏、池田太郎氏



湖南省発達支援システム: 発達障害者支援法のモデル

湖南省の2030年のあるべき姿

こなんウルトラパワーを核とした地域循環共生圏を目指したSDGs環境未来都市構想の実現に向けて、①自治体新電力を核とした官民連携の自然エネルギー導入プロジェクトの実施、②地域経済循環の創出③多様な主体との連携により地域の活力を創出し、未来を創造するさりげない支えあいのまちづくりの実現をめざす。

産業力が強化された活力のあるまちの創造

地域が主体となった持続可能なまちの創造

安心して暮らせる基盤の整ったまちの創造

観光と交流による活性化されたまちの創造

湖南省がめざす「シュタットベルケ」とは

シュタットベルケ

◎水道、電力、ガス、交通、通信などの様々な事業の一体運営を担う、自治体と民間が共同出資する等した会社。（民間として事業展開）
◎様々な事業を一体運営することで、水道や電力などの黒字事業の収益を基に、公共交通のような赤字事業の補完も可能に。

「こなんウルトラパワー」は小売電力事業等の収益を基に、公共施設管理や公共サービス等地域の課題解決につながる事業展開を図る

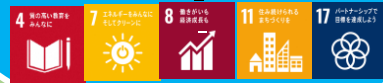
地域自然資源を活用したエネルギー・経済の循環による地域活性化の推進

経済

社会

地域資源との関わりを見つめ直し、誰もが参画できるまちづくりの推進

地域新電力を核とした取組
湖南省版シュタットベルケ構想
～SDGs未来都市の実現～

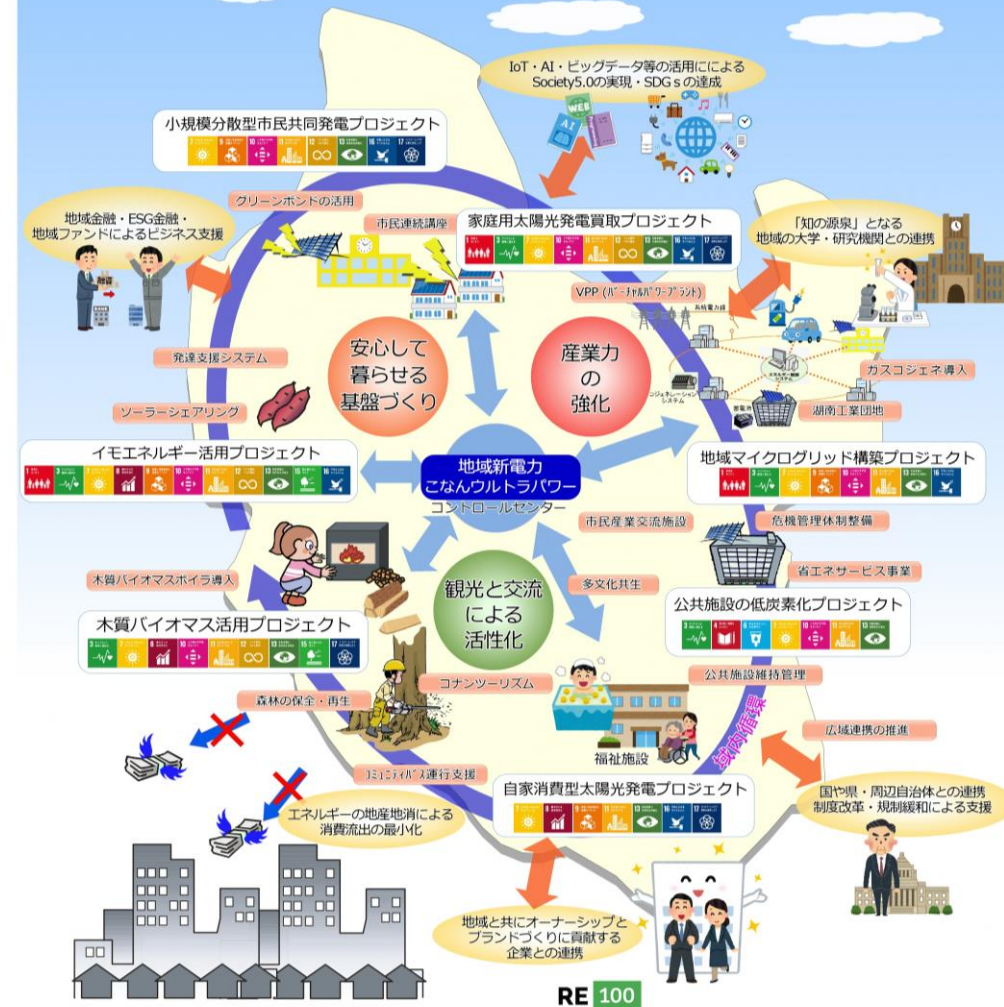


安全に暮らせる強靱で持続可能な脱炭素まちづくりの推進

環境

湖南省版シュタットベルケ構想

自治体新電力を核として自然エネルギーを活用することで地域循環共生圏の実現とSDGsへの貢献をめざします



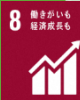
自治体SDGsモデル事業の概要

誰もが**参画**することのできる
持続可能なまちづくりを展開



- ・伝統野菜を使った「湖南ブランド」開発
- ・障がい者や高齢者の農業分野での就労などを支援する農福連携
- ・産業ツーリズムやウェルネスツーリズムなど地域資源を活用した体験型観光の企画、運営
- ・GAP認証取得支援体制整備
- ・スマート農業の推進
- ・こなんウルトラパワーの連携によるソーラーシェアリングの普及拡大の検討

地域資源を活かした
農商工+観光の推進



- ・市民をはじめ市外からの起業者を受け入れる仕組みづくり
- ・SDGsの視点に立った社会課題解決型のイノベーションや女性の起業などを支援する体制の整備
- ・人材育成に向けた研修会等の実施
- ・地域の事業者が自然エネルギー等に関するビジネスに取り組む体制づくり等の支援

SDGsの視点に立った起
業・第二創業支援



- ・自然エネルギーの自給率向上
- ・市内産木材の利活用増加
- ・官民連携によるESG投資額増加

地域資源を活用した
自然エネルギー等の
導入



- ・市内の立地企業や中小企業者での就労機会の創出
- ・女性や高齢者、外国人材のリカレント教育やキャリアアップ教育の支援
- ・働き方改革やワーク・ライフ・バランスによる職場環境の改善、障がい者雇用の推進を支援

人材の育成と職場環境の
改善による労働力の確保



- ・SDGs×地域自然エネルギー教育を推進
- ・官学連携によるこなん政策アカデミーの実施
- ・自然エネルギーの導入やSDGsに配慮した活動を展開する企業数拡大

市民・企業のSDGsに資する
取組拡大



- ・地域コミュニティの活性化や活動の支援、担い手の育成を推し進める
- ・まちづくり協議会が主体となる協働事業数拡大

地域の好循環を支える市
民主体のまちづくりの推進



- ・災害時における活用に向けた協定等の検討の実施
- ・防災拠点となる公共施設への自然エネルギー等の率先導入推進

自立分散型の
エネルギー確保



- ・(仮称)こなんソーシャルイノベーション連携協議会の設立・運営
- ・(仮称)こなんソーシャルイノベーション連携協議会を中心とした中小企業、農業や観光などの地域産業と連携し、雇用創出につながる自然エネルギー等の導入を支援

地域産業の活性化、
雇用の創出に資する
自然エネルギー等の導入



- ・中小企業者等の省エネ・節電やエネルギーコストの削減に資するBEMS機器の導入に向けた、セミナーの開催等情報提供や機器導入の支援
- ・近隣市町を巻き込んだ公共施設、学校の省エネ化

エネルギー費用の地域内
での還流による地域経済
活性化



経済・社会・環境の三側面をつなぐ統合的取組

■ 地域新電力会社「こなんウルトラパワー」による シュタットベルケ構想の実現

○市民・事業者身近なエネルギーについて、地域資源を活用した自然エネルギーの地産地消を見える化することで、地域自然エネルギーに対する理解の醸成を図るとともに、地域自然エネルギーの導入促進につなげ、脱炭素社会の構築に寄与する。

4 質の高い教育をみんなに



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



○木質バイオマスやイモエネルギーなど地域に根差した取組において、福祉団体や学校との連携を図り、障がい者の雇用の創出や子どもへの環境教育の推進を図る。

4 質の高い教育をみんなに



8 働きがいも経済成長も



○こなんウルトラパワーが核となり、公共サービスの維持や災害時のエネルギー供給の安全性を高め、安心して暮らせるまちづくりを進める。

11 住み続けられるまちづくりを

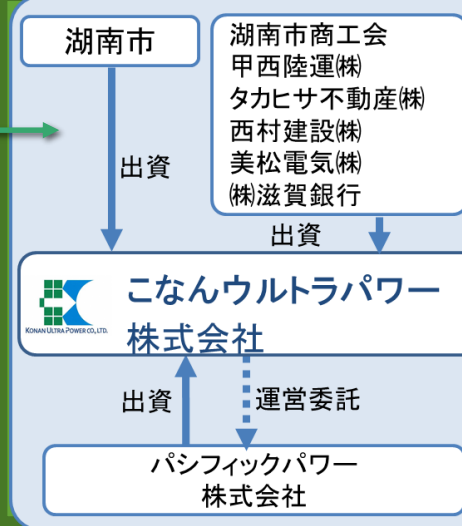


○市外からも本市の取組に関わることでできる仕組みを構築することで関係人口の増加を図るとともに、協議会の設立により、市内の団体、事業者との連携を推進することでSDGs達成に向けた取組を強化する。

17 パートナリーシップで目標を達成しよう



多様なステークホルダーとの連携

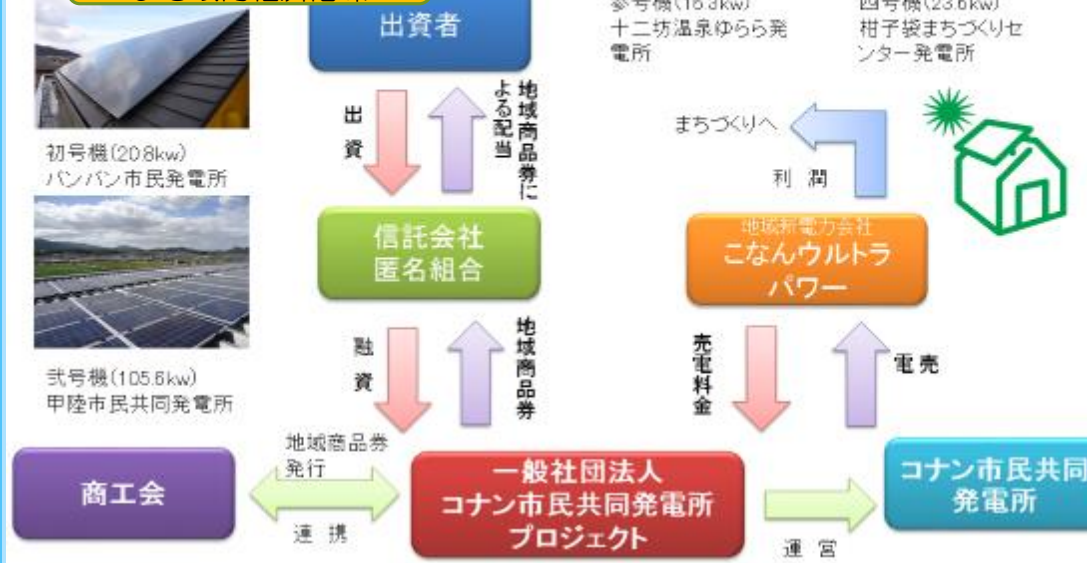


湖南省の域内経済循環モデル

コナン市民共同発電所

～4基が稼働中～

地域商品券で配当による域内経済循環



経済・社会・環境の各側面の相乗効果



湖南市長と
こなんウルトラパワー関係者



自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

こなんウルトラパワーを核とした シュタットベルケ構築事業

このモデル事業は、湖南省地域自然エネルギー基本条例の理念でもある

「地域資源から生み出された自然エネルギーは地域のもの」という考え方の下に、地域新電力会社を核としたシュタットベルケ構想として、自然エネルギーで生み出された利益(価値)を活用し、地域課題の解決、公的サービスの向上を図る事業を展開するスキーム

指定管理者

- 施設維持管理について、日常的に自らでできる範囲は工夫して実施
- 専門的な対応は個別に委託に出して実施
- 大きな規模の修繕は、問題が起きた時点で市に個別相談

市

- 修繕要望を収集し、次年度予算を編成
- 予算が通ったものは、部署ごと、施設毎で対応し、次年度に工事等実施

指定管理業務の対象外とし、市が複数施設で一括発注

⇒事務手間の軽減+見積額が低減

上記と合わせ、定期的な循環体制を官民連携で構築
メンテナンスに係る費用は、一括で民間に支払い、必要に応じて民間の判断・スピード感で実施

⇒設備は建物の長寿命化と維持管理費平準化

+行政は監督・戦略立案に専念

+日頃の管理データの蓄積を業務効率化に活用



地域新電力会社「こなんウルトラパワー」による域内経済循環の構築



みらい公園湖南を核とした新たな価値の創造



「湖南ブランド」づくりによる新たな地域活性化プロジェクト



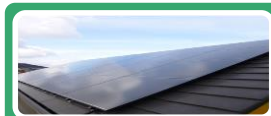
農福・林福連携事業



地域マイクログリッド構築プロジェクト



地域まちづくり協議会における自主事業の展開



小規模分散型市民共同発電プロジェクト

こなんウルトラパワーが、エネルギー利用・脱炭素化の側面から包括的な取組のマネジメント支援

モデル事業の普及展開性

他の地域への普及展開性

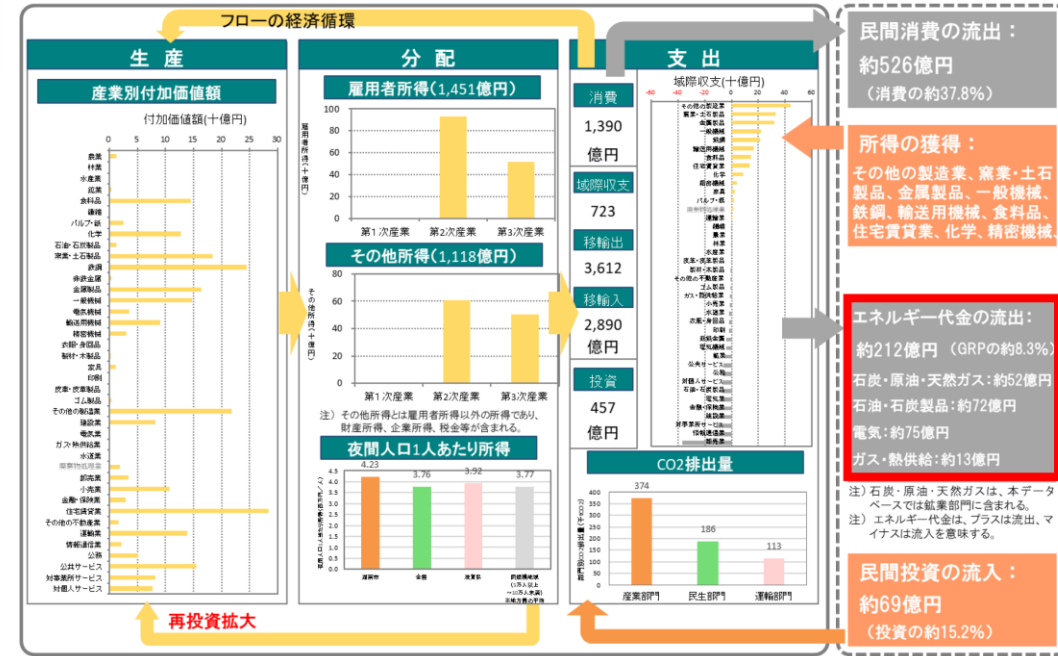
- ・ シュタットベルケの考え方は、域外に流出していたエネルギー代金を地域内に還流させ、公共施設を活用した社会サービス、地域の高齢者健康支援・見守りサービス、地域の交通維持や商店街の活性化など地域課題の解決に活用する手法であり、全国の自治体への普及展開することが可能である。
- ・ 当市で進める農福連携・林福連携については、障がいのある人等の就労等へつなげていく取組であり、全国の地域へのモデルとなると考えている。

自治体SDGsモデル事業の普及展開策

- ・ 事業の効果などを検証したうえで、本市と同じ特性や危機感・規模感を持つ地方公共団体に普及展開する。
- ・ 当市においては、自然エネルギーを活用した取組、地域新電力事業による展開、発達支援システムにおいては、既に多くの行政視察等を受け入れている。(平成24年度からの自然エネルギー・地域新電力事業への視察実績: 180回実施延べ980名来市)
- ・ 連携協議会の発信に対しても、近隣自治体等から問い合わせ等あれば積極的に連携を求め、取組の面的拡大に努める。

湖南省総生産(総所得/総支出)2,569億円【2013年】

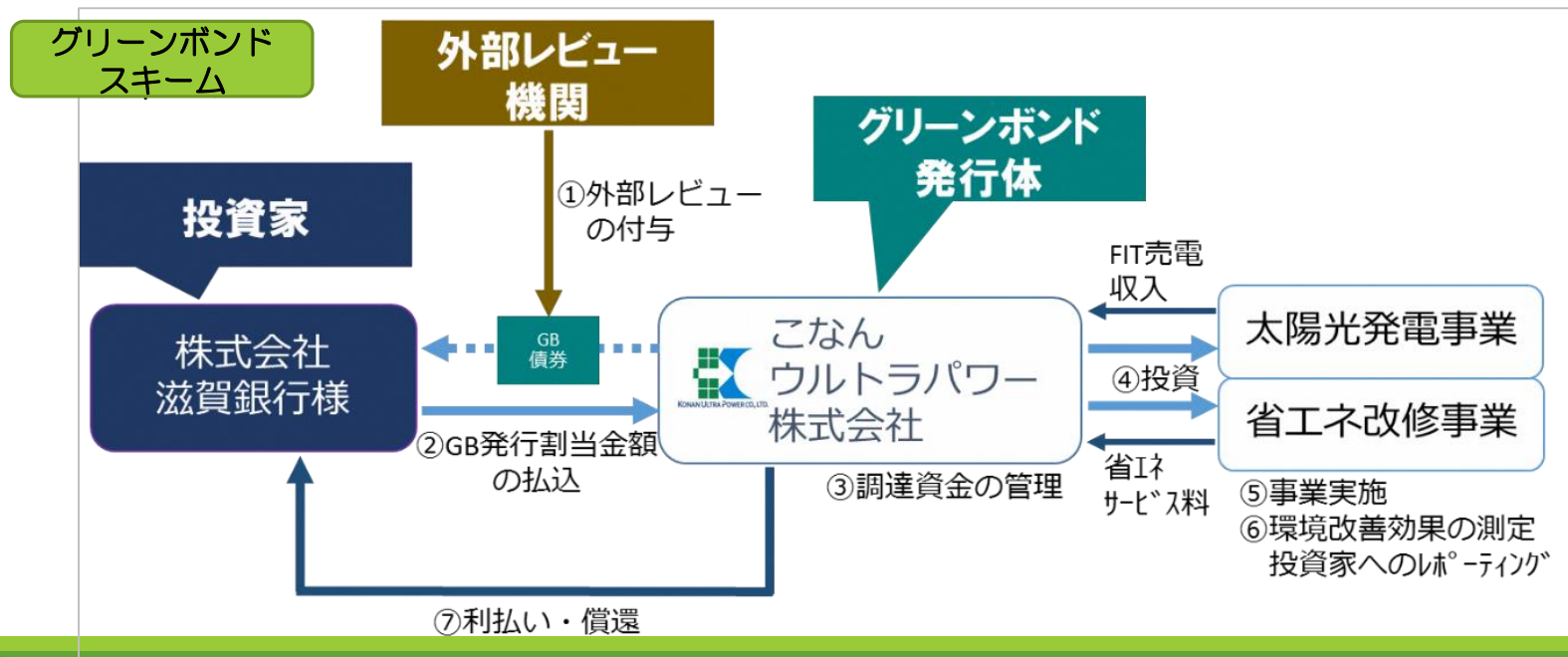
地域外



農福連携事業の現地視察の様子

将来的な自走に向けた取組

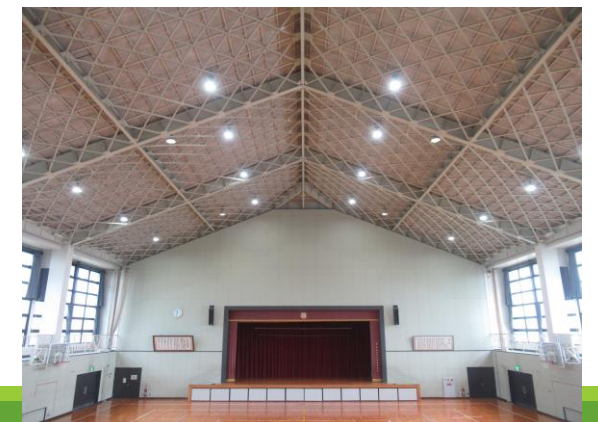
- ✓ こなんウルトラパワーの収益を活用(調査検討・計画・事業の自己資本として)するとともに、グリーンボンド等のESG投資を活用した資金調達により、財源を確保。(年間50,000千円程度の資金調達を図る。)
- ✓ こなんウルトラパワーでは、2018年度に**自治体新電力会社として初めて**となる「こなんウルトラパワーグリーンボンド1号」(発行額1.1億円)を発行し、湖南省内の物流センター2件の屋根置き型太陽光発電事業(273kW、266kW)および市内の学校施設4校の照明LED化事業を展開している。
- ✓ 2019年度においては、引き続き「こなんウルトラパワーグリーンボンド2号」(発行額6千万円)を発行し、市内小学校及び竜王町の小学校と図書館で省エネサービス事業を展開している。2年連続の資金調達となり、継続した事業展開に育ちつつあるとともに、はじめて他市町との**広域連携**による取組となり、今後も周辺市町との連携事業の展開を図ることとしている。



夏見東太陽光発電所



野洲川太陽光発電所



竜王西小学校 体育館のLED化

地域でのさりげない支え合い 持続可能なまちづくり 地域循環共生圏の創造

～SDG s 環境未来都市構想の実現に向けて～



地域 × 自然エネルギー × ヒト

- ☞ 地域資源の発掘
- ☞ 地域住民の担い手発掘
- ☞ エネルギーで地域内循環
- ☞ エネルギーの地産地消

市民 × 事業者 × 企業 × 金融機関 × 大学 × 行政

- ☞ 様々な主体による共働
- ☞ 地域が主体となった取組推進
- ☞ 官民連携

地域新電力事業

- ☞ 創エネ × 電源開発
- ☞ 省エネ × 省エネルギーサービス
- ☞ エネルギーマネジメントによる有効利用
- ☞ 新たな地域活性化事業展開

農業・林業 × 福祉 × エネルギー

- ☞ 障がい者、高齢者の就農支援
- ☞ 六次産業化による特色ある特産品
- ☞ 新たなエネルギーの可能性

地方創生

- ☞ 新たなエネルギー産業
- ☞ 雇用創出の可能性
- ☞ スマートエネルギー社会
- ☞ 防災拠点の安心安全
- ☞ 脱炭素社会

シュタットベルケ構想

